



未来パレットだより

ESDとは、「持続可能な開発のための教育」を意味する英語Education for Sustainable Developmentの頭文字をとったものです。北九州地域では「未来パレット」のニックネームの下、教育機関・市民団体・企業・行政などからなるネットワーク組織、北九州ESD協議会が活動しています。

みんなが主役! ESDツキイチの集い2017

SDGsに沿って学び+楽しさをテーマにESDを取組む人々の活動をつなげる集いです

6月20日(火) 15:00~16:20

テーマ はじめまして
ESDツキイチの集い

内容 ・ESD・SDGsについての
プレゼンテーション
・持続可能な社会について
ワークショップ



7月26日(水) 13:30~15:30

テーマ 夏を涼しく!
リサイクル工作風鈴づくり

内容 ・子どもへの環境問題と
ESDの説明
・ペットボトルを使用した
風鈴づくり

発表 北九州市環境学習サポーターの会

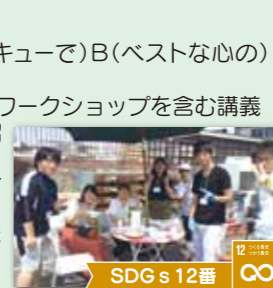


8月10日(木) 11:00~15:00

テーマ 地元食材を使ってB(バーベキューで)B(ベストな心の)
Q(キュージツを)

内容 ・学生が地産地消をテーマにワークショップを含む講義
・「フードバンク」の活動紹介、食ロスの説明
・地元野菜と食ロス食材で
バーベキュー

発表 特定非営利活動法人フード
バンク北九州ライフアゲイン



9月5日(火) 17:00~19:40

テーマ クリーンなまちづくり
with グリーンバード

内容 ・グリーンバード活動紹介
・グリーンバード活動
(ごみ拾い) 参加

発表 私たちの未来環境プロジェクト
グリーンバード北九州チーム



10月18日(水) 14:00~16:30

テーマ 白書を読む会

内容 ・環境省主催「白書を読む会」
・会員や学生による活動発表
と意見交換

発表 八百屋さやかさん
環境省



11月29日(水) 18:00~20:30

テーマ ESDチランを作るう

内容 ・ESDの分かりやすい説明や
ゴロあわせを考えるワーク
ショップ

発表 北九州インタープリテーション研究会



12月17日(日) 14:00~16:00

テーマ 世界とつながるクリスマス

内容 ・北九州市に住む外国人の
方々の日頃の悩みから学ぶ
・ケーキ作りで国際交流

発表 北九州国際交流協会
アジア女性交流・研究フォー
ラム



1月21日(日) 13:30~16:00

テーマ みんなで灯そう!

内容 ・エコキャンドルづくり
・身近なリサイクル活動
・廃食用油でエコキャンドル
づくり

発表 地球温暖化を考える北九州市民の会
北九州市環境学習サポーターの会

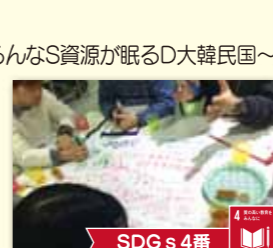


2月25日(日) 14:00~17:00

テーマ あなたはまだ知らない? ~いろいろなS資源が眠るD大韓国~

内容 ・韓国(ESD, RCE)についての発表
・韓国の伝統菓子・伝統茶を
味わいながらワールドカフェ

発表 調査研究・国際プロジェクト
北九州市立大学
(421lab 村江史年)(眞鍋ゼミ)



3月25日(日) 10:00~12:00 活動報告会
12:00~もちつき

テーマ 活動報告会
きもち(餅)を伝えよう
もちもちコミュニケーションvol.2

内容 ・協議会会員による1年間の
活動報告
・もちつき



韓国研修

貴重な場所で多くの学びを得ることができ、意義ある研修を体験することができました。平和を考えるための視察や懇談会、ウォントン小学校における水の循環教育のためのESD実践、タラの加工で産業を盛り立てている町の視察、料理の伝統文化の学び合い等、ESDとしての要素を十分に満たしたものであったと思います。

最も印象に残ったのは、非武装地帯を乙支(ウルチ)展望台より荒涼とした軍事境界線近辺を目にし、韓国の徴兵制度についての説明をしていただいたことで、韓国が休戦状態であることを痛感しました。

今回の研修の学びをふまえ、どのようにESDを展開し、その効果を着実にアウトプットしていくかということについて、具体的な実践計画を考えていきたいと思います。

北九州市立大学 特任教員
大木 えりか



エコライフステージ2017

平成29年10月7日(土)8日(日)、エコライフステージに出展いたしました。

リバーウォーク北九州内のステージでは、サブコーディネーター達が「ESDダンス」を披露しました。ブースでは、廃材を使ったりリサイクル工作の「星のアクセサリ」や「ミニ封筒」のワークショップと、ESDを分かりやすく伝えるための「置き換えワード募集」を行いました。会場内にある団体会員のご協力をいただき、クイズ型スタンプラリーも実施。ワークショップ、スタンプラリーなど、2日間を通して600名の方のご参加がありました。

今年からTシャツも新しく揃え、終日バタバタと忙しくも楽しい2日間となりました。参加者の声として「ESDについてもっと知りたい、活動にも参加してみたい」と嬉しい声を多く聞くことができ、後日協議会を訪れてくださった方もいらっしゃいました。

北九州ESD協議会 コーディネーター
森川 妙



「総務大臣表彰」を受賞しました!

平成29年11月20日、地方自治法施行70周年記念式典にて、「地方自治功労者総務大臣表彰」を受賞しました。

当協議会が、市民主体で地域に根差したESD活動を継続し、地域社会・教育機関に大きな影響を与え、持続可能なまちづくりに大きく貢献したことが高く評価されました。

今後とも、皆様と一丸となってESD活動に取り組んでいきたいと思っております。



写真:左(三隅顧問):中央(近藤代表):右(眞鍋運営委員長)

持続可能な担い手づくり 大学連携「まなびと講座」実施しました!

10月から11月の5日間、まなびとESDステーションにて、「まなびと講座」が開催されました。今年のテーマは「SDGsとESDの種探し」です。参加大学は、西日本工業大学・北九州市立大学・九州共立大学・九州栄養福祉大学・九州女子大学の5大学から68名が参加しました。この講座では、多大学の学生たちが交流しながら、身近な問題から海外の実情まで、座学、対話、聞き書きなどの多様なプログラムを通して学びを深めました。



スケジュール	テーマ	1	2	3
10月22日	持続可能な開発目標 (SDGs) のための学び「ESD」	SDGs「持続可能な開発目標」・ESD「持続可能な開発のための教育」 眞鍋 和博	金銀銅から考える持続可能性への想い 泉 優佳理	SDGsについて 細井 陽子
10月29日	いろんな視点で見える世界。ESDを知ってみよう、考えてみよう	北九州は近代リハビリテーションの発祥地 橋元 隆	「今日を生きる」から「未来を生きる」 榎本 恵 ナチャ(モザンビーク・マコンデ族)	私たちの望む未来は・・・北欧スウェーデンを例に考えよう 泉 優佳理
11月12日	北九州ESDの種を探そう	北九州市における地域リハビリテーションの実際 大丸 幸	聞き書きレクチャー 原賀 いずみ	聞き書きスタート! 平和の聞き書き 渡辺 いづみ ESDの種人紹介 原賀 いずみ
11月19日	ESDの種・聞き書きカフェ	聞き書き① 聞き書き② まとめ 14人の種人さんたち 眞鍋 和博 森川 妙		
11月26日	微力だけど無力じゃない～あなたのESDの種見つけ～	聞き書き発表会 原賀 いずみ		

11月19日・26日

ESDの種 聞き書き

企業・市民・行政、様々な立場や視点から持続可能な地域づくりのために、問題解決に取り組んでこられた方々を「ESDの種人」と名づけ、その活動の思いや意義を共有し伝えるために、昨年度に引き続き実施しました。今年の種人さんは14名。聞き書きレクチャーで「知る・伝える」ことの重要性に気づいた学生たちが、グループに分かれ、午前と午後で2人の種人さんにインタビューしました。最終日の発表会では、種人さんの活動をSDGsの視点からポスターにまとめ発表。また、発表会には種人さんたちもかけつけるなど、学生たちと種人さんたちの交流も深まりました。

種人さんたち

三隅 佳子	北九州ESD協議会顧問(前副代表):北九州市のジェンダー問題・ESDの先駆的取組みを推進	木村 健児	北九州市キャンプ協会会長:自然体験活動を通して環境・社会・防災など様々な課題に取り組む
廣澤 洋子	(公財)北九州国際交流協会理事:国際交流を市民の立場から行い活躍	八百屋 さやか	特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン:食ロスの削減や環境負荷の軽減に取り組む
高原 義弘	前・(公財)北九州国際交流協会専務理事:北九州市の国際交流と多文化共生対応を推進	金子 良恵	第5期北九州市男女共同参画審議会市民委員:ワークバランスの問題に取り組む
中園 哲	北九州市環境ミュージアム館長:北九州市環境局で公害克服の技術を推進	飯塚 恵津子	大木整形・リハビリ医院作業療法士:精神障がい者の社会復帰支援
熊井 一博	北九州市環境ミュージアム副館長:元新日鉄社員・環境ミュージアムボランティア1期生	中川 万里子	前・北九州市立総合療育センター作業療法士:センター創設の草分け的存在
山下 厚生	北九州社会教育・生涯学習研究会:旧八幡市の社会教育の黎明期を知る社会教育のエキスパート	林 芳江	特定非営利活動法人北九州自立生活センター代表:ピア・カウンセラーとして活躍
井上 英二	株式会社アステック入江:廃電子基板から金を抽出して再資源化する技術の開発	川崎 孝之	上下水道局海外事業課:北九州市の上下水道事業による国際貢献を推進

10月22日・11月12日

聞き書きの前準備 SDGs、ESDの講義



自分たちの身近なもの、事柄から話を広げて講義を進めて下さったので分かりやすくとても興味深かったです。
今日の講義のテーマでもあった「ずっと」というワードを意識して学んでいく事で、これからの「持続可能な社会」を私たちが作り上げていかなければならないと感じました。
九州栄養福祉大学 1年



私は海外にとっても興味があるので、モザンビークやその周辺の文化や様子が知れて良かったです。
歌とギターも素晴らしかったです。NGOの活動内容についてもっと詳しく知りたかったです。
北九州市立大学 1年



普段使っている「リハビリ」の意味を知らなかった。
リハビリテーション発祥地北九州の歴史について学びました。
また、高齢化社会が深刻な問題なのだを知り、日本の未来が少し心配になりました。
九州女子大学 1年



実際に公害問題の一因となった新日鉄に勤務し市民たちがどのように課題解決へと向かっていったのか、また現在どのように社会貢献をしているか等が聞けたことは本当に貴重な体験になりました。自分の知らなかった北九州の良い一面が知れて嬉しいです。
西日本工業大学 1年

北九州市総合療育センター創設に関わった種人さんのお話を聞き、北九州で生まれて育ったが障害を持って方にとって優しい環境であると感じてとても誇りに思えました。知らない事がまだまだあると感じました。
九州共立大学 4年

人材育成・発掘プロジェクト

今年度の取組みとして、「おしゃべり工房」ざくばらんにESD交流!というネーミングで、市民センターをリレー式に移動しながら、それぞれのESDの活動の学び合いを目的とした市民センター館長の小さな交流会を開催しました。
11月30日には、小倉北区の到津市民センターを会場に、中村玲子館長(到津)他7名の館長、そして活動者ら11名が参加しました。ゲストスピーカーに、原田昌樹 代表(フードバンク北九州ライフアゲイン)を招き、中村館長には到津での取組みを、また協議会メンバーの原賀いずみさんにも活動を紹介していただきました。フリースタイルの自己紹介などができるのも特徴ですが、今後、市民センター館長やESD協議会の団体がこのように、打ち解けあった交流が出来る機会を増やしていくことで、市民センターの活動に一粒でも多くESDの種を撒いていけるのではないかと期待しています。
人材育成・発掘プロジェクトリーダー 渡辺 いづみ



つながるチャレンジ 2017



企業×ESDの広がり

12月18日(月)に、KICS(北九州環境ビジネス推進会)さんの月例会で、北九州ESD協議会の一員として活動発表をさせていただきました。月に一度の交流会や取材活動について発表したのですが、企業の方々の反応は様々でした。企業さんと私たちが関わり、つながることで双方にどんなメリットや社会への貢献があるのかなどを、より明確にする必要があると強く感じました。北九州市でのESD、SDGsの実現に向けて地道な努力を惜しまず、新しいことにも挑戦していきたいと思えます。
サブコーディネーター 中田 沙紀

※敬称は省略させていただきました。